



取扱説明書 保証書付

型式 / TYPE: WD034

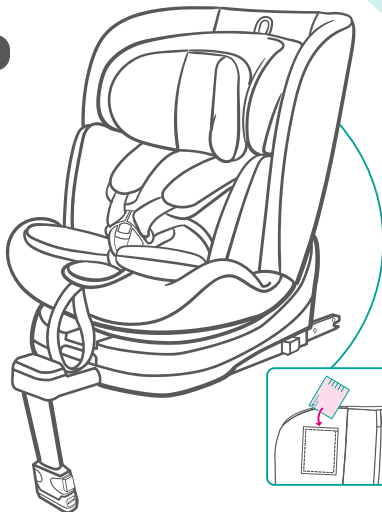
規則 / Regulation: UN R129/03
サイズ範囲 / 40 cm ~ 150 cm

はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には、必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。

チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

また、本書は取付け後も大切に保管し、必要に応じてお読みください。



お使いいただく前に

車に取付ける前に

車への取付け

お手入れの仕方・
保管など



お客様情報の
登録をお願いします。



シリアルNo.をお控ください。

〔本取扱説明書〕(ウラ面の保証書)、に〔シリアル No.〕の記入欄があります。

車両への取付けをおこなう前に〔シリアル No.〕をお控えください。

※車両への取付け後、車両シートで〔シリアル No.〕が見えにくい場合があります。

もくじ

お使いいただく前に

使用条件①	2
使用条件②	3
表示マークについて	5
緊急時のお子さまのおろし方	6
安全にお使いいただくために	7
ご使用上の警告/注意	9
各部の名称	11

車に取付ける前に

サポートレッグの使い方	13
シートの回転のしかた	15
リクライニングのしかた	17
幼児ベルトの調節	19
キャノピーの使い方	21

車への取付け

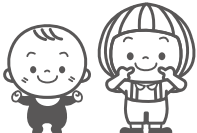

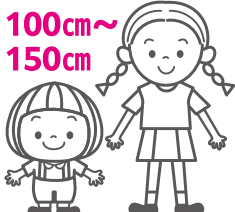




取付け準備	22
お車への取付け方 ベビーモード	23
お車からの取りはずし方	25
お子さまの乗せ方 ベビーモード	27
お子さまを乗せた後の確認	30
お子さまの降ろし方 ベビーモード チャイルドモード	31

お車への取付け方 チャイルドモード	33
お子さまの乗せ方 チャイルドモード	35
お子さまを乗せた後の確認	38
モードチェンジのしかた	39
お車への取付け方 ハイバックモード	41
お子さまの乗せ方 ハイバックモード	43
お子さまを乗せた後の確認	45

お手入れの仕方・保管など

シートカバーのはずし方/取付け方	47
お手入れの仕方	49
保管/廃棄の仕方/製品仕様	50
保証書	裏表紙

使用条件① お子さまの身長 / 取付け方向

<p>お子さまの 身長</p>	<p>1. ベビー モード</p> <p>40cm~105cm</p> 	<p>2. チャイルド モード</p> <p>76cm~105cm</p> 	<p>3. ハイバック モード</p> <p>100cm~ 150cm</p> 
<p>取付け方向</p> 	<p>後向き →</p>  <ul style="list-style-type: none">●月齢 15 か月を超えるまでは 後向きで使用する●体重 18kg まで	<p>前向き ←</p>  <ul style="list-style-type: none">●月齢 15 か月を超えるまでは 前向きで使用しない●体重 18kg まで	<p>前向き ←</p>  <ul style="list-style-type: none">●サポートレッグなし

お使いいただく前に

使用条件② 固定方法 / インナーパッド

1. ベビーモード 40cm~105cm



固定方法



幼児ベルト

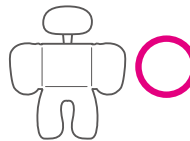


ISOFIX
コネクタ



サポート
レッグ

インナーパッド



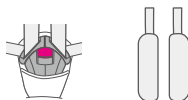
身長が75cm以下

2. チャイルドモード 76cm~105cm

●月齢 15 か月を超えるまでは前向きで使用
しないでください。



固定方法



幼児ベルト

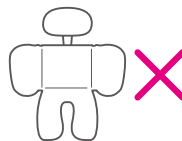


ISOFIX
コネクタ



サポート
レッグ

インナーパッド



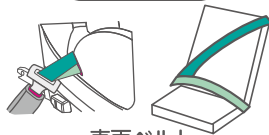
身長が75cmを超える場合

3. ハイバックモード

100cm~150cm



固定方法



車両ベルト



肩ベルトガイド

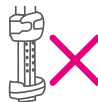


腰ベルトガイド



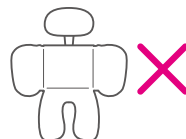
ISOFIX
コネクタ

※使用しない方法
もあります。



サポートレッグ

インナーパッド



身長が75cmを超える場合

お使いいただく前に

表示マークについて

この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。



警告

記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。



注意

記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。



禁止

図示されている内容の禁止を示しています。



確認

安全のため、必ず確認していただきたいこと。



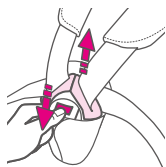
アドバイス

より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。

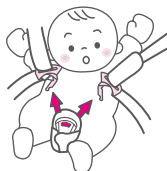
緊急時のお子さまのおろし方

衝突などの緊急時には、あわてず速やかに
お子さまを救出してください。

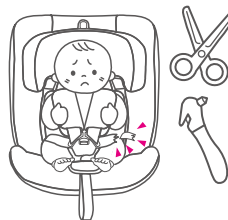
チャイルドモード時



バックルの赤いボタンを押し、
タングをはずします。

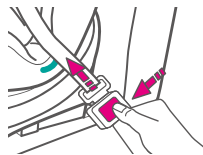


幼児ベルトをお子さまからはずし、
お子さまを救出してください。

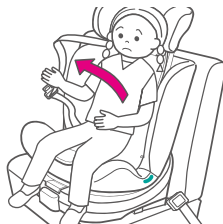


バックルの赤いボタン
を押しても、タングが
はずれない場合はシート
ベルトカッター（市
販品）などでベルトを
切断してお子さまを救
出してください。

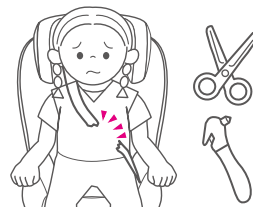
ハイバックモード時



車両バックルの赤いボタ
ンを押し、タングをはず
します。



お子さまにかかっている車両シートベルト
をはずし、お子さまを救出してください。



車両バックルの赤いボタンを押しても、タン
グがはずれない場合はシートベルトカッター
（市販品）などで車両シートベルトを切断し
てお子さまを救出してください。

お使いいただく前に

安全にお使いいただくために

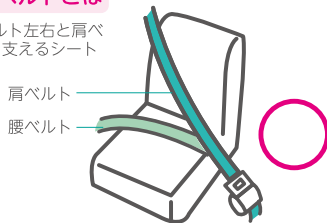
車両シートベルトの種類と取付けのポイント(ハイバックモードの取付け時)

- 本装置は、認可された車両が UN/ECE 規則 No.16 又は同等の基準で認可された 3 点式リトラクター付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。
- 車両には、各種のシートベルトが装着されています。それぞれ特長も違い、取付け方法も変わってきます。チャイルドシートを正しく安全に使用するために、お客様の車両(シートベルト)に合った取付け方法で装着してください。

お使いいただく前に

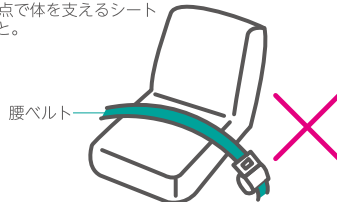
3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルト左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



2点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。



取付け可能な車両シートベルトの種類

シートベルトの種類と特徴		取付け時の注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に入入りし、勢いよく引くとロックする。	○ ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締め、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	○ シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、 チャイルドシート固定機能を解除してから 取付けてください。
その他	上記にあてはまらないシートベルト。	✕ 使用できません。

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

取付けできないシート

- ISOFIX 取付け金具が装備されていない座席。
前向き取付時に取付金具を使用しない取付け方法もあります。
- 横向き、後向きになっている座席。
(衝突の際にショックを吸収できません。)
- チャイルドシートを取付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになる座席。
- 前方にエアバックが装備されている座席。
(サイドエアバッグのみの場合は使用できます。)
- 助手席には取付けないでください。
- 足下に床下収納ボックスが装備されている座席。
- 極端なバケットシート等、しっかりと固定ができない座席。

ご使用上の警告 / 注意



記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 本製品は**取扱説明書どおり**に固定してください。
- お子さまの不定定な行動により、**ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し**、使用してください。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず**腰ベルトを低く下げて着用**させてください。
- 座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、**他の座席**に取付けてください。
- 本製品の**バックルをはずしたままでの使用は危険**ですので絶対にしないでください（ハイバックモードは除く）。
- 後部座席に人が乗る場合**の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、**緊急時の脱出口確保**のため、取付けしないでください。
- お子さまが、**バックルの赤いボタン**を押さないように注意してください。ときどきタンクが**バックルからはずれていないことを確認**してください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても**絶対に使用しない**でください。
- 本製品を**改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しない**でください。
- シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしない**でください。
(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。)
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかり固定されません。
- お子さまを車内にひとりりで放置することは**絶対にしない**でください。
- 運転中に本製品の操作(回転・ベルト調節・角度調節などの操作)をしないでください。
- 新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をはなさないでください。
- お子さまの負担を考慮**1時間以上連続して使用しない**でください。
- エアバッグ装備の座席には使用しない**でください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
- 肩ベルトが首にかかっている、事故等のときに圧迫されるおそれがあるため、肩ベルトの高さを、首にかからないように調節してください。
- 本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、**直射日光を避け各部が高温でないことを確認**してからご使用ください。



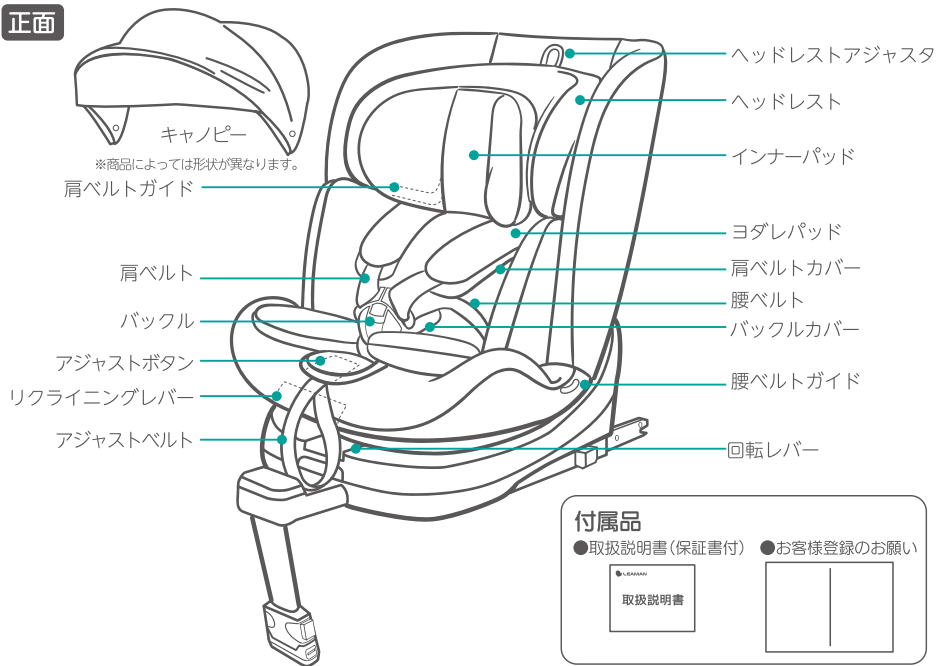
記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

- お子さまを乗せる際には、本製品の取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態でおこなってください。)
- 本製品にお子さまを乗せたまま車両への取付け・取りはずしはしないでください。
- お子さまの乗り降りの際など、本製品の端に体重をかけると、転倒してケガなどをするおそれがあります。
- お子さまが本製品の上で立ち上がったたり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかり固定しておいてください。
- 座席の材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますので注意してください。本製品と車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、使用してください。
- 可動式座席または車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)がはさまれないように本製品を取付けてください。
- ベルトを鋭利なもので傷つけないように注意してください。
- 本製品を車両以外では使用しないでください。
- 本製品を取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。
- お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。
- 本製品を持ち運ぶときは、ベース部以外をもたないでください。故障の原因となります。
- 爪をのばしていたり、付け爪をしていると拘束や調節操作をする際、巻き込まれるおそれがありますので注意してください。

各部の名称

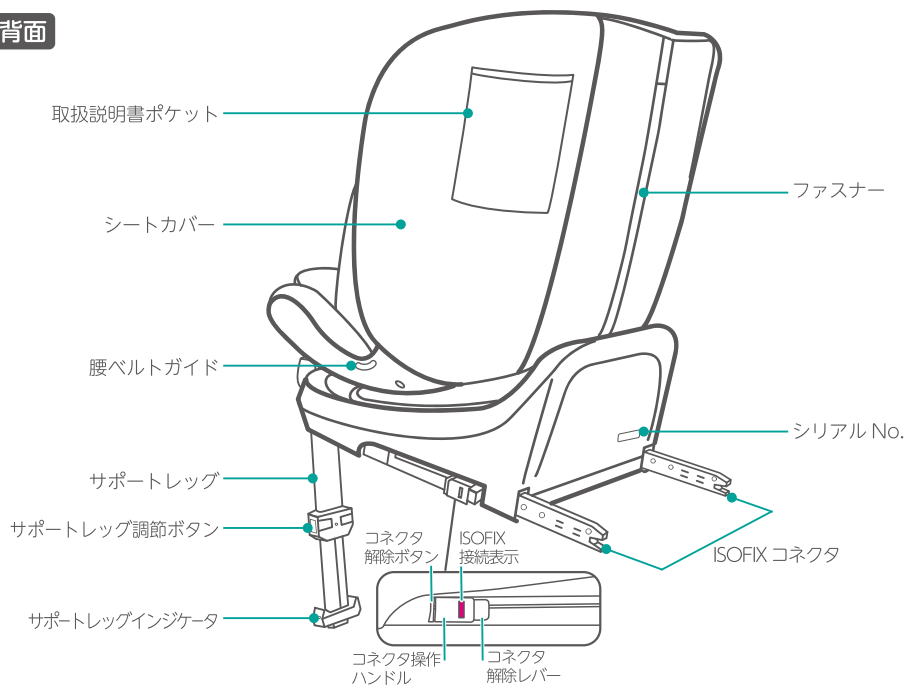
※シートカバーのはずし方/取付け方、47ページ参照

正面



お使いいただく前に

背面



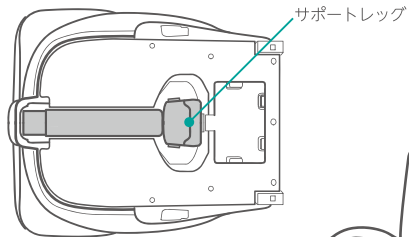
お使いいただく前に

サポートレッグの使い方(展開/収納)

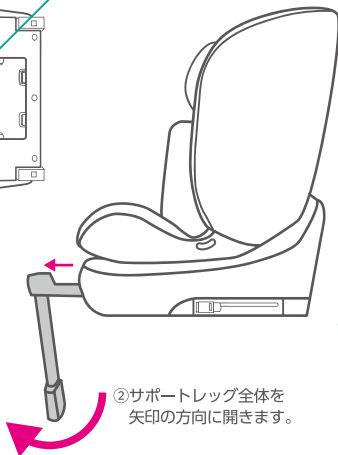
- 工場出荷時は、サポートレッグが収納された状態になっています。使用条件にあわせて、サポートレッグの展開と収納をしてください。
- シートの回転操作は、サポートレッグが展開されている状態でのみ可能です。

サポートレッグを展開する

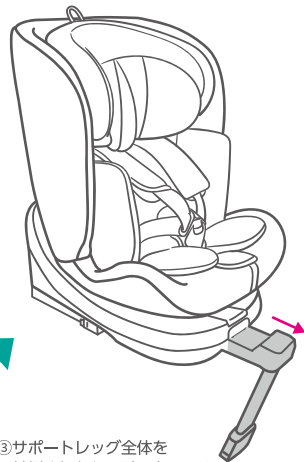
- ①シートの底面からサポートレッグ全体を引き出します。



車に取付ける前



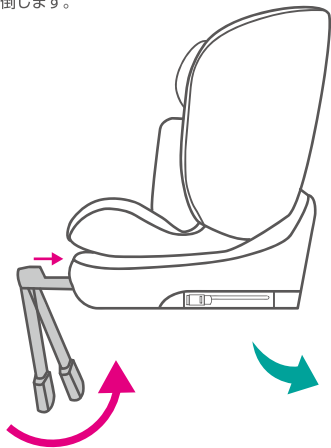
- ②サポートレッグ全体を矢印の方向に開きます。



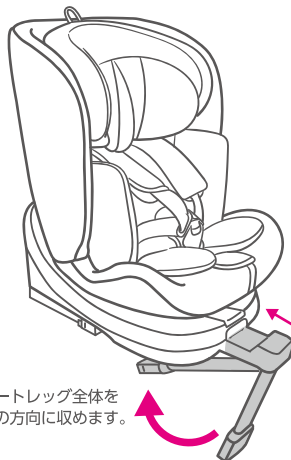
- ③サポートレッグ全体を外側(矢印)に引き出します。

サポートレッグを収納する

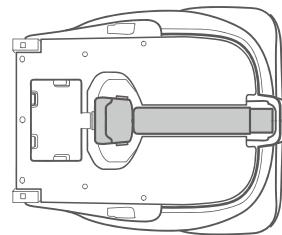
①サポートレッグ全体を矢印の方向に倒します。



②サポートレッグ全体を矢印の方向に収めます。



③サポートレッグ全体を底面の収納スペースに収まるまで押し込みます。

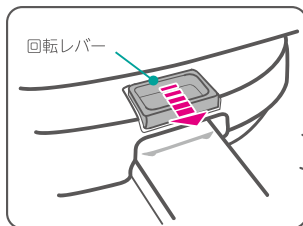


車に取付ける前に

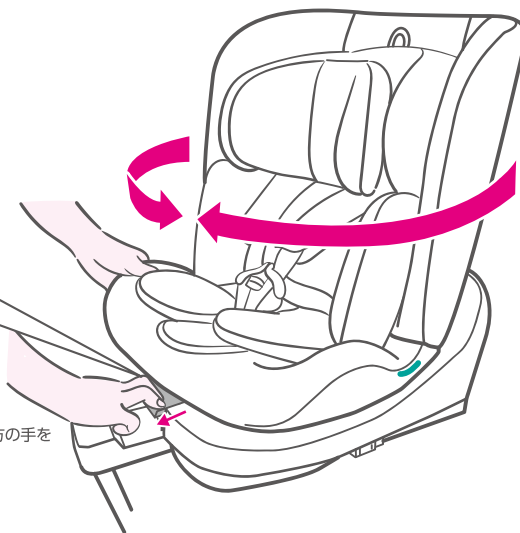
シートの回転のしかた

- 取付け方向の変更や、お子さまの乗せ降ろしの為にシートを回転する事ができます。
- シートの回転操作は、サポートレッグが展開されている状態でのみ可能です。(13 ページ参照)

①回転レバーを矢印方向へ引き出します。

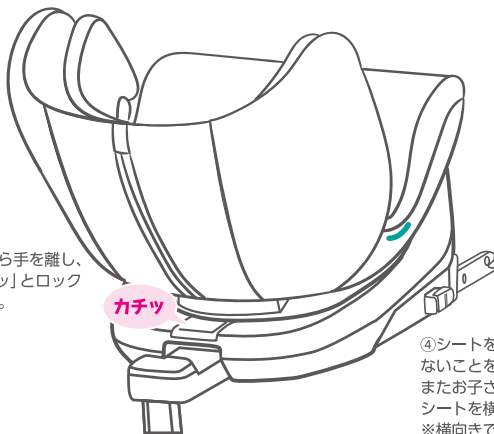


②回転レバーを引いたまま、片方の手をサイドに添えて回転させます。



- シートを横向きにしたまま走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。
- 車両への取付け時、シートが車両のシートに干渉して回転操作ができない場合があります。
※無理なく操作できる場合は、ご使用いただけます。
- 車両のヘッドレストにシートが干渉して回転操作ができない場合は、ヘッドレストを取りはずして使用してください。

③動き始めたら、回転レバーから手を離し、前向き、横向き、後向きの「カチツ」とロックがかかる位置まで回転させます。



④シートを回転方向にゆすり、ぐらつきがないことを確認する。
またお子さまを乗せ降ろしする場合は、シートを横向きの位置でご使用ください。
※横向きでは、完全にロックしません。
※シートの構造上遊びがあり、カタカタと音がしますが、問題なく使用できます。

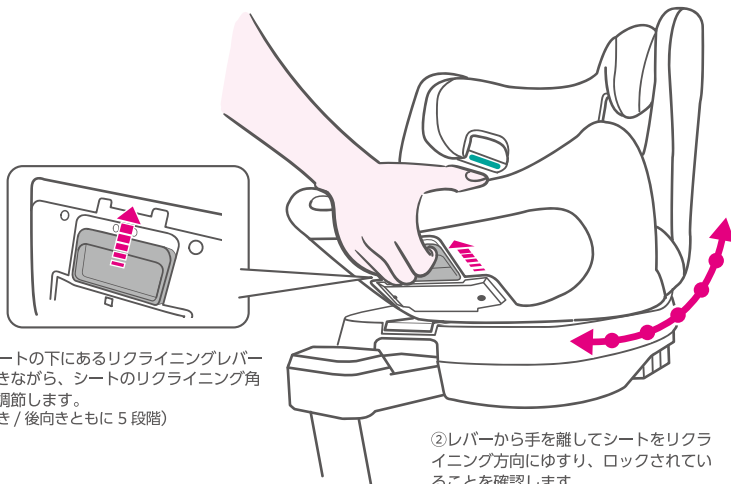


注意

- ベース背面やシートの背面、角度調節レバーの下のすき間に指や手などをいれたまま、回転操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
- 横向きにしたままでドアを閉めないでください。ドアを開めた際に背もたれとドアがぶつかって製品やお車の故障の原因になる場合があります。

リクライニングのしかた

- シート角度を 5 段階で調節することができます。
- ベビーモードとチャイルドモードでは、お子さまの身長に関係なくシート角度を調節できます。
- ハイバックモードでは、シートを一番立てた状態で使用してください。



①シートの下にあるリクライニングレバーを引きながら、シートのリクライニング角度を調節します。
(前向き / 後向きともに 5 段階)

②レバーから手を離してシートをリクライニング方向にゆすり、ロックされていることを確認します。



- 車両への取付け時、シートが車両のシートに干渉してリクライニング操作ができない場合があります。
※無理なく操作できる場合は、ご使用いただけます。
- 車両のヘッドレストにシートが干渉してリクライニング操作ができない場合は、ヘッドレストを取りはずして使用してください。



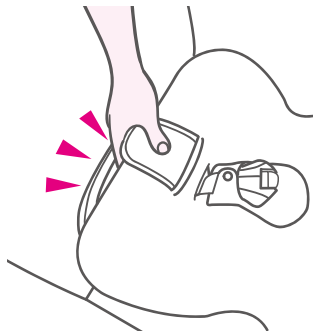
注意

- ベース背面やシートの背面、リクライニングレバーの下のすき間に指や手などをいれたまま、リクライニング操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりとリクライニングさせてください。お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。



注意

- チャイルドシートを車両に取付ける際は、リクライニングを最も立てた状態で行ってください。
- リクライニングを倒した状態で、車両に前向きに取付けを行うと、チャイルドシートと車両シートの背もたれが干渉し、しっかりとした車両への取付けができません。



注意

- シートが後向き状態でリクライニング操作をする場合、ベース部とシートで手などを挟まないようご注意ください。
- 操作しづらい時は、シートの向きを横向きや前向きにして操作してください。

車に取付ける前に

幼児ベルトの調節

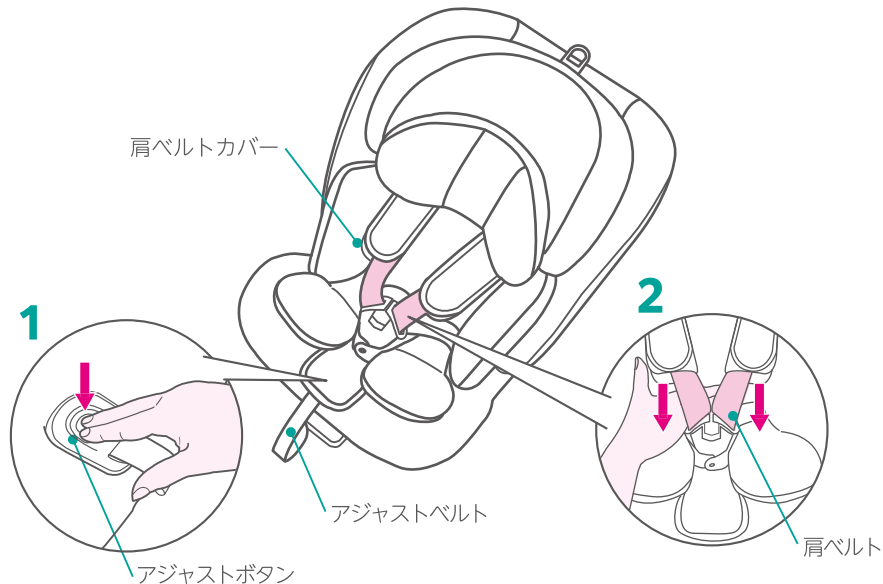
●アジャストボタンを押しながら、左右両方の肩ベルトを引き同時に手前に引き出します。

※引き出せなくなるまで最大限引き出します。

※「肩ベルト」を引き出す際は、肩ベルトカバーをもたずに引き出します。

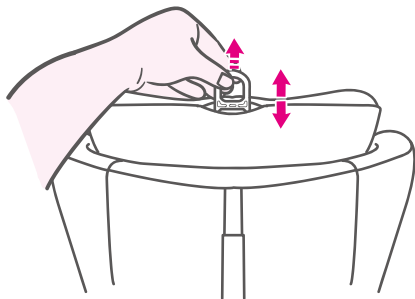
※お子さまを乗せる際の、幼児ベルトの調節方法は 27 ページを参照ください。

車に取付ける前に

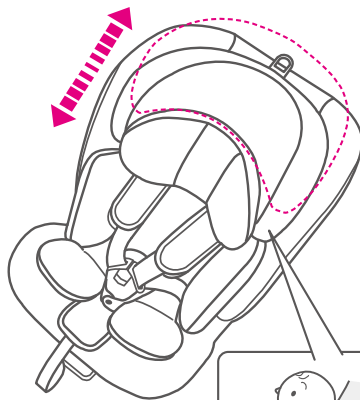


3 ●ヘッドレストアジャスタを上向きに引きながら上下させる。

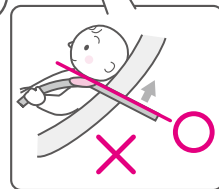
※ヘッドレストの高さと連動してヘッドレストにある肩ベルトの高さが 12 段階変更できます。



4 ●お子さまの肩と同じ高さか、やや高めから肩ベルトが出る位置になるようにヘッドレストを調節します。



肩ベルトの位置や長さはお子さまの体格に合わせて、必ず調節してください。

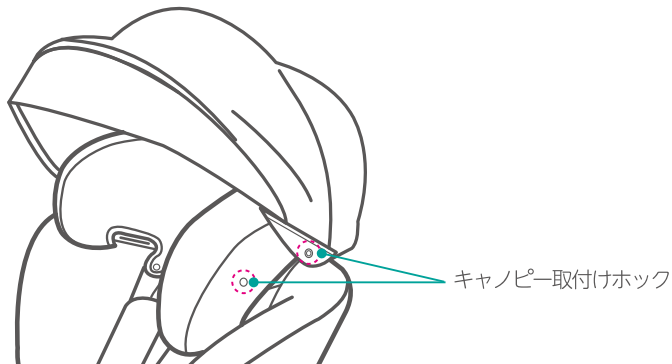


車に取付ける前に

キャンピートの使い方

- 身長：40～83cm(月齢が15ヶ月まで)のお子さまでご使用いただけます。

車に取付ける前に



ヘッドレスト 側面外側の左右のフックに固定します。



警告

- キャンピートは、後向き専用のパーツです。前向きで使用すると衝突時などに本来の性能を発揮できずに重大な害を負う可能性があります。
- キャンピートは、お子さまの身長：40～83cm(月齢が15ヶ月まで)を超えた場合や、お子さまの手が届いたり身体に触れる場合は、使用しないでください。



注意

- 本製品を持ち運びや操作する際は、キャンピート部分を持たないでください。
- キャンピートに、おもちゃなどを取付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。

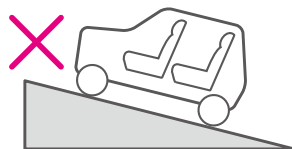
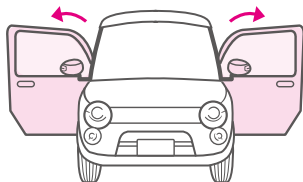
取付け準備

作業スペースの確保

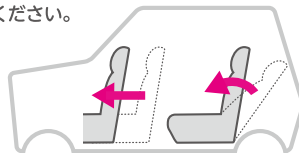


安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。

- 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。



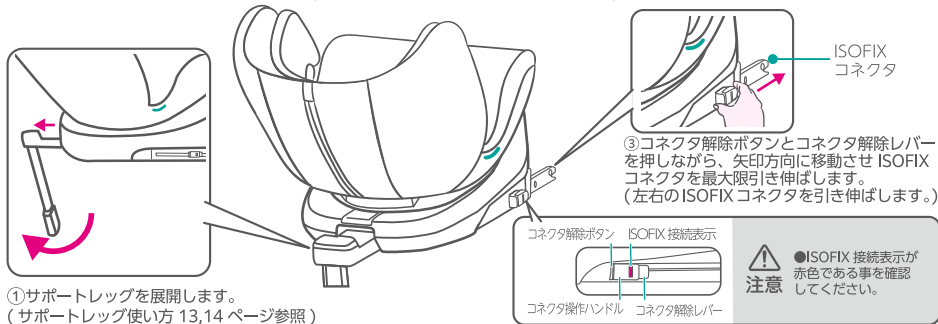
- 前座席を前に倒したり、前にスライドさせてから取付けてください。
- 車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。



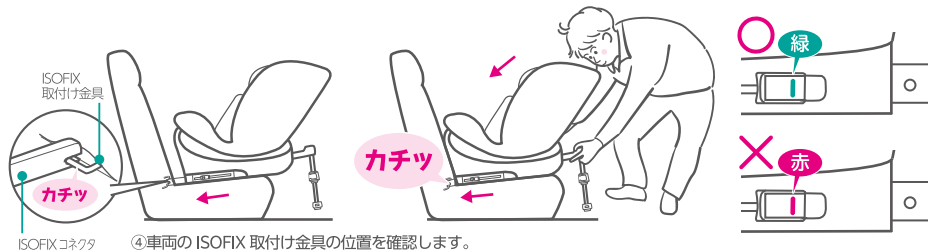
お車への取付け方 **ベビーモード** 身長 40-105cm

取付け方向 **後向き** →

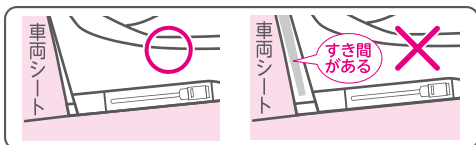
②シートを後向きに回転させます。
(シートの回転のしかた 15,16 ページ参照)



①サポートレッグを展開します。
(サポートレッグ使い方 13,14 ページ参照)



④車両の ISOFIX 取付け金具の位置を確認します。
製品全体をゆっくりと押し込み、左右の ISOFIX コネクタを ISOFIX 取付け金具に接続します。
『カチッ』という音がして、ISOFIX 接続表示が緑色に変わったことを確認してください。

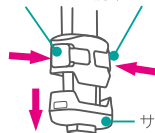


⑤車両シートの背もたれにベースが接するまでしっかりと押し込んでください。
シート本体を前後させて、ISOFIX コネクタが伸縮しない (ロックされている) ことを確認してください。
ISOFIX コネクタが抜けてしまう場合や、ロックされていない場合は一旦取りはずし 23 ページの③の操作からやり直してください。



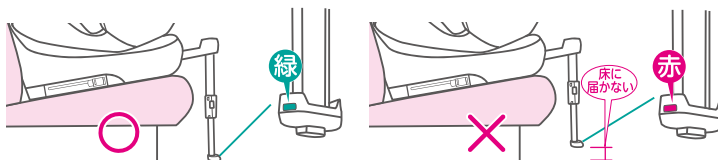
●車両によっては、しっかり押し込んでも完全に接しない場合があります。車両の背もたれがグライディング出来る場合は出来るだけ隙間がない角度に調節してください。

サポートレッグ調節ボタン



サポートレッグ先端

⑥サポートレッグ調節ボタン (左右 2 箇所) を押しながら、サポートレッグの先端が車両の床面に届くまでゆっくり伸ばします。



⑦サポートレッグの先端が車両の床面から離れていない事、サポートレッグのインジケータが緑色にかわったことを確認してください。



- 長さ合わない場合はベース前方を少し持ち上げて、1 段階長めに伸ばしてください。
- 車両シートが前後にスライドできる場合、サポートレッグの先端が床面に接地できる位置に調節してください。



注意

- お子さまを乗せていないときも、チャイルドシートは固定しておいてください。

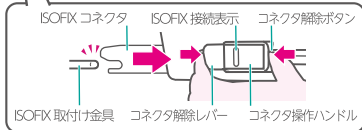
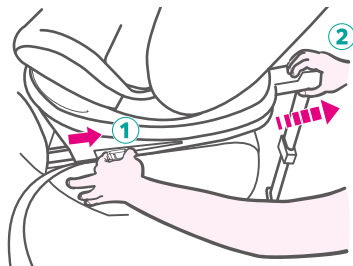
お車からの取りはずし方



取りはずしの操作は片側ずつ操作してください。

- ①コネクタ解除ボタンとコネクタ解除レバーを押しながら、コネクタ操作ハンドルを矢印の方向に引き、ISOFIX コネクタと ISOFIX 取付け金具の接続を解除します。(左右の接続を解除します。)
- ②解除した状態で、ベース (操作している側) を少し手前に引き、座席から取りはずす。

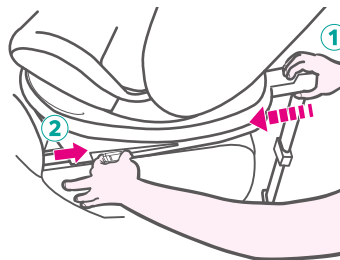
片側だけ大きく引き出すと反対側の操作がしにくくなります。



●ISOFIX コネクタの解除が固い場合

座席の反発力によって、コネクタ解除が固くなる場合があります。固い場合は下記の方法で片側ずつ解除してください。

サポートレグの支持部を持ち、本体を座席に押しつけながら、上記 ISOFIX コネクタ取りはずしの操作を行ってください。座席がリクライニングできる場合は後方に倒すと、はずしやすくなる場合があります。



●お子さまを乗せていないときも、チャイルドシートは固定しておいてください。

memo

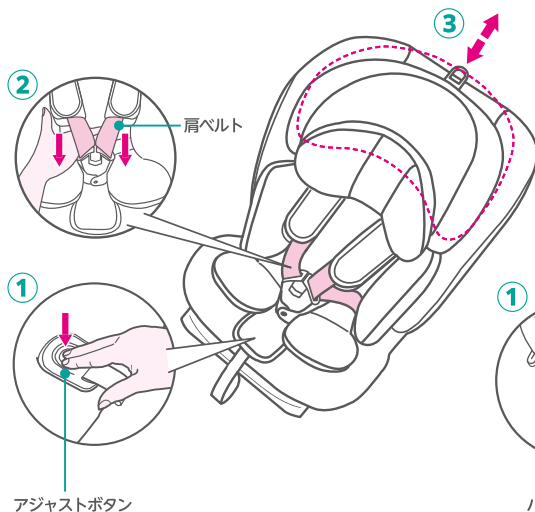


お子さまの乗せ方 ベビーモード 身長 40-105cm



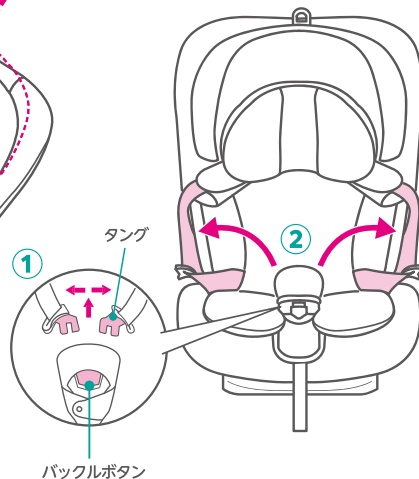
1 ● 幼児ベルトを調節する (19,20 ページ参照)

- ① アジャストボタンを押しながら、
- ② 左右の肩ベルトを手前に引き、緩める。
- ③ 肩ベルトの高さを調節する。



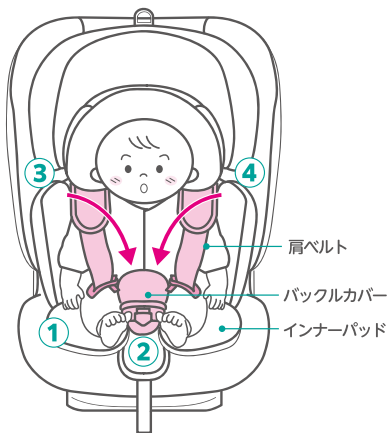
2 ● タングをはずす

- ① バックルボタンを押し、タングをはずす。
- ② 肩ベルトを左右に広げる。



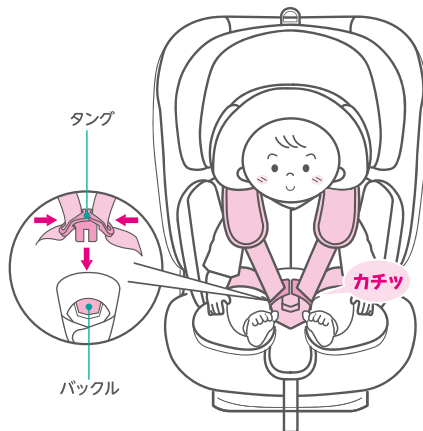
3 ●お子さまを乗せる

- ①お子さまの身長にあわせて、インナーパッドを使用してください。身長が75cm以下のお子さまはインナーパッドを使用してください。
- ②お子さまの股の間とバックルカバーが接するように中央に寝かせ、お子さまのお尻が肩ベルトに乗っていないことを確認する。
- ③お子さまの肩に肩ベルトをかける。
- ④お子さまの肩の高さに合わせて、正しい肩ベルトの位置に調節する。(19,20ページ参照)



4 ●タングを差し込む

- 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



警告

- おしりと座面の間に隙間ができないように深く座らせてください。
- かさばる服を着た状態では、使用しないでください。

お子さまの乗せ方

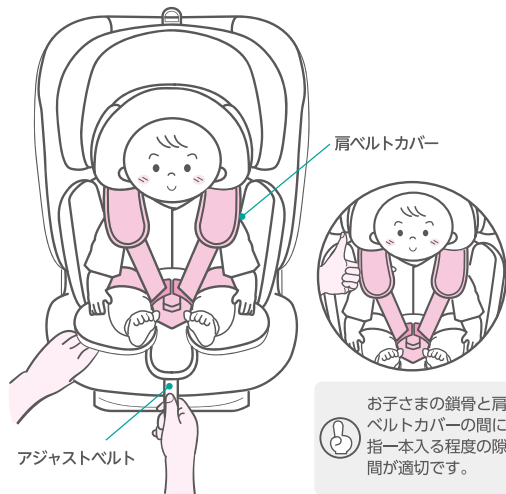
ベビーモード

身長 40-105cm



5 ● 幼児ベルトを調節する

- ① 左右の肩ベルトカバーをお子さまの肩の中央にかかる位置に調節します。
- ② 腰ベルトをお子さまの腰骨のできるだけ低い位置にかけます。
- ③ アジャストベルトをまっすぐ手前に引き、幼児ベルトを調節します。



お子さまを乗せた後の確認



お子さまを乗せた後に必ず確認してください。
正しくできていない場合は、23～29 ページの手順をやり直してください。

お子さまの身長にあわせた使用条件になっていること。
(2～3 ページ参照)

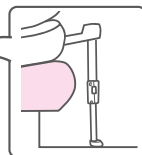
肩ベルトカバーにねじれ、ゆるみがないこと。

肩に近い肩ベルト高さに調節されていること。

肩ベルトカバーがお子さまの肩の中央にかかる位置に調節されていること。

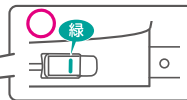
タンクがバックルにしっかりと差し込まれてロックされていること。

バックルカバーがお子さまの足の間に通っていること。



サポートレッグの先端が床に接地していること。

腰ベルトがお子さまの腰骨のできるだけ低い位置にかかっていること。



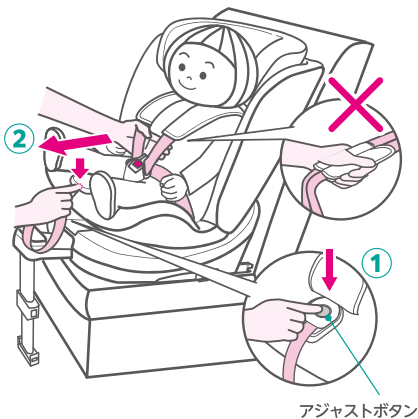
ISOFIX コネクタが接続されていること。

お子さまの降ろし方 **ベビーモード** **チャイルドモード**



1 ● 幼児ベルトの引き出し

- ① アジャスタボタンを押しながら、
- ② 左右両方(2本)の肩ベルトを同時に手前に引き出す。



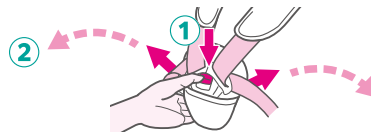
アジャストボタン



● 肩ベルトカバーではなく、**肩ベルトだけ**を引いてください。

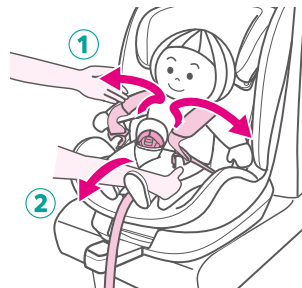
2 ● バックルの解除

- ① バックルの赤いボタンを押してタンクをはずします。
- ② 幼児ベルトを左右に大きく開く。

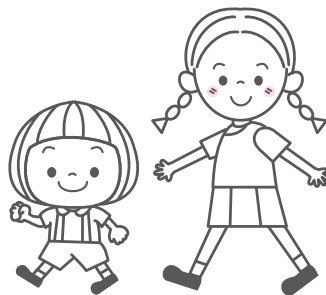


3 ● お子さまを降ろす

- ① お子さまの腕を肩ベルトからはずし、
- ② お子さまをチャイルドシートから降ろします。



memo

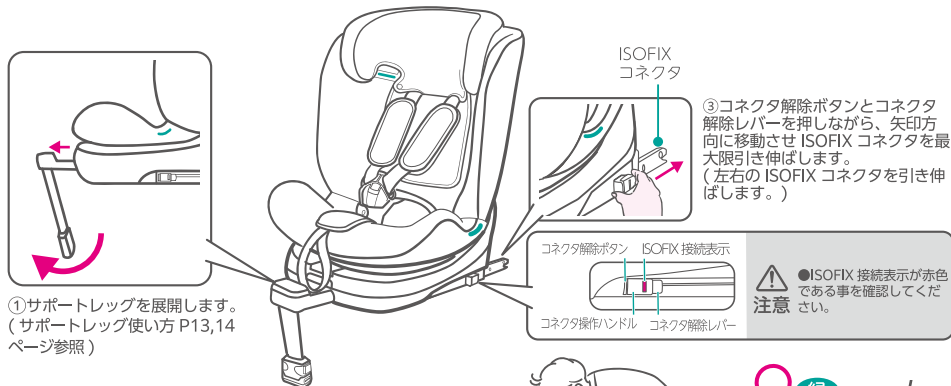


お車への取付け方 **チャイルドモード** 身長 76-105cm



取付け方向 **前向き** ←

②シートを前向きに回転させます。(シートの回転のしかた 15,16 ページ参照)

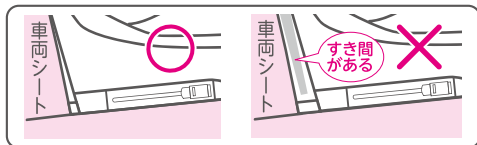


車への取付け



④車両の ISOFIX 取付け金具の位置を確認します。
製品全体をゆっくりと押し込み、左右の ISOFIX コネクタを ISOFIX 取付け金具に接続します。
『カチッ』という音がして、ISOFIX 接続表示が緑色に変わったことを確認してください。

●お車からのはずし方は 25 ページ参照。



⑤車両シートの背もたれにベースが接するまでしっかりと押し込んでください。

シート本体を前後させて、ISOFIX コネクタが伸縮しない（ロックされている）ことを確認してください。

ISOFIX コネクタが抜けてしまう場合や、ロックされていない場合は一旦取りはずし 33 ページの③の操作からやり直してください。

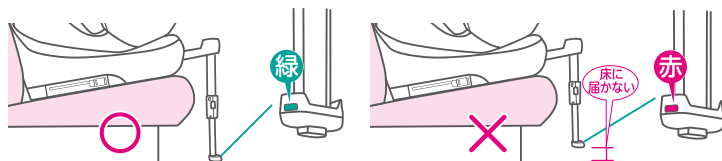
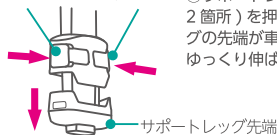


●リクライニングを倒した状態で、車両に前向きに取付けを行うと、チャイルドシートと車両シートの背もたれが干渉し、しっかりと車両への取付けができない場合があります。干渉する場合は、チャイルドシートのリクライニング角度を調節してください。

●車両によっては、しっかりと押し込んでも完全に接しない場合があります。車両の背もたれがリクライニング出来る場合は出来るだけ隙間がない角度に調節してください。

サポートレッグ調節ボタン

⑥サポートレッグ調節ボタン（左右 2 箇所）を押しながら、サポートレッグの先端が車両の床面に届くまでゆっくり伸ばします。



⑦サポートレッグの先端が車両の床面から離れていない事、サポートレッグのインジケータが緑色にかわったことを確認してください。



- 長さ合わない場合はベース前方を少し持ち上げて、1 段階長めに伸ばしてください。
- 車両シートが前後にスライドできる場合、サポートレッグの先端が床面に接地できる位置に調節してください。



注意

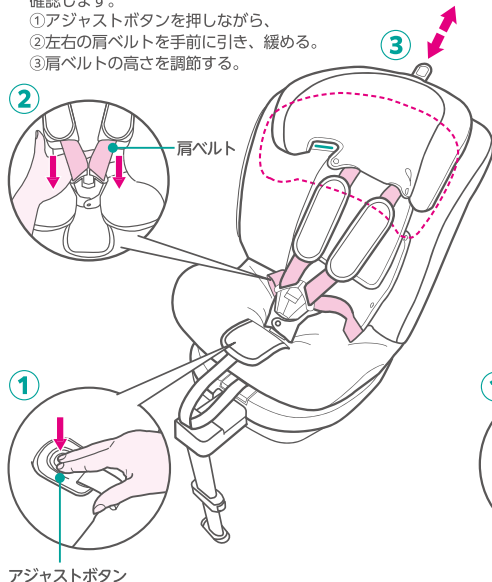
- お子さまを乗せていないときも、チャイルドシートは固定しておいてください。

お子さまの乗せ方 **チャイルドモード** 身長 76-105cm



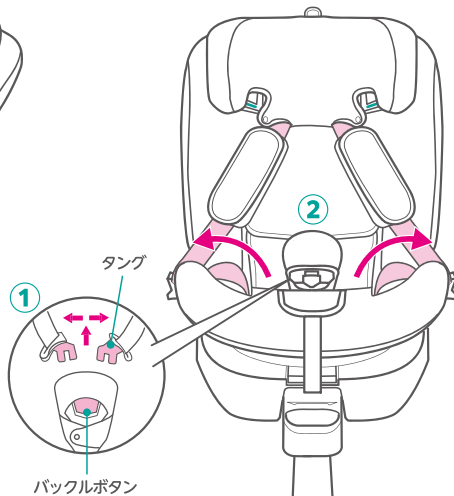
1 ●幼児ベルトを調節する (19,20 ページ参照)
インナーパッドが取りはずされていないことを
確認します。

- ①アジャストボタンを押しながら、
- ②左右の肩ベルトを手前に引き、緩める。
- ③肩ベルトの高さを調節する。



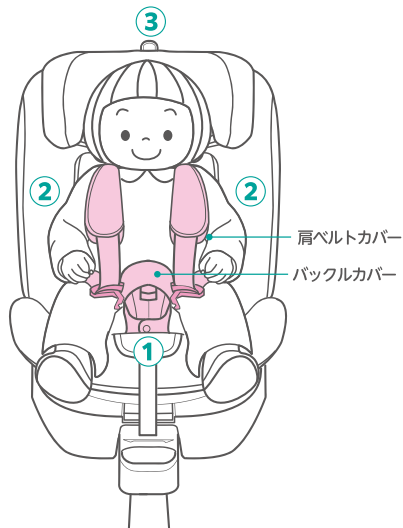
2 ●タンクをはずす

- ①バックルボタンを押し、タンクをはずす。
- ②肩ベルトを左右に広げる。



3 ●お子さまを乗せる

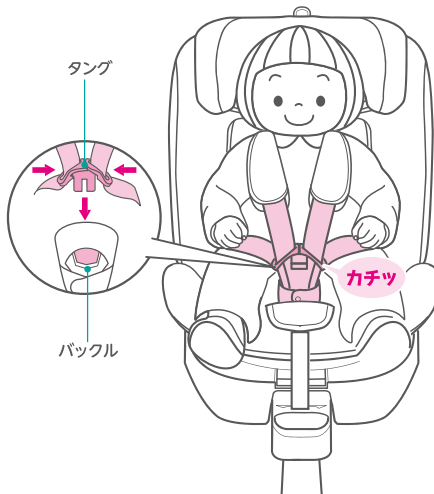
- ①バックルがお子さまの股の間に取まるようにして、お子さまを座面の奥深くに乗せる。
- ②お子さまの肩に肩ベルトカバーをかける。
- ③お子さまの肩の高さに合わせて、正しい肩ベルトの位置に調節する。(19,20 ページ参照)



肩ベルトカバー
バックルカバー

4 ●タングを差し込む

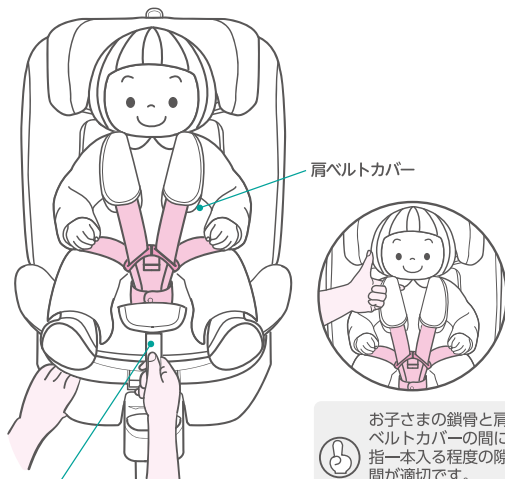
- 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



お子さまの乗せ方 **チャイルドモード** 身長 76-105cm



- 5** ● 幼児ベルトを調節する
- ① 左右の肩ベルトカバーをお子さまの肩の中央にかかる位置に調節します。
 - ② 腰ベルトをお子さまの腰骨のできるだけ低い位置にかけます。
 - ③ アジャストベルトをまっすぐ手前に引き、幼児ベルトを調節します。



肩ベルトカバー

アジャストベルト



お子さまの鎖骨と肩
ベルトカバーの間に
指一本入る程度の隙
間が適切です。

お子さまを乗せた後の確認



お子さまを乗せた後に必ず確認してください。
正しくできていない場合は、33～37の手順をやり直してください。

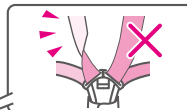
お子さまの身長にあわせた使用条件になっていること。
(2～3ページ参照)

肩に近い肩ベルト高さに
調節されていること。

肩ベルトカバーがお子さまの
肩の中央にかかる位置に
調節されていること。

バックルカバーがお子さまの足
の間に通っていること。

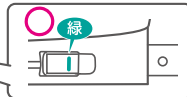
サポートレッグの先端が床に接地
していること。



幼児ベルトにねじれ、ゆるみがないこと。

タンブがバックルにしっかりと
差し込まれてロックされている
こと。

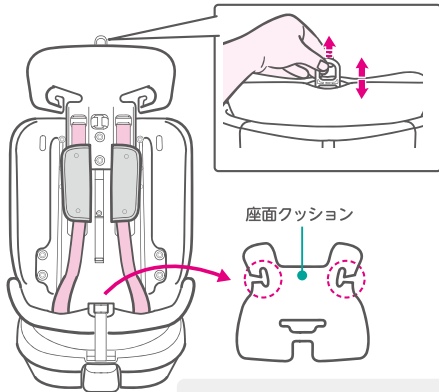
腰ベルトがお子さまの腰骨ので
きるだけ低い位置にかかっている
こと。



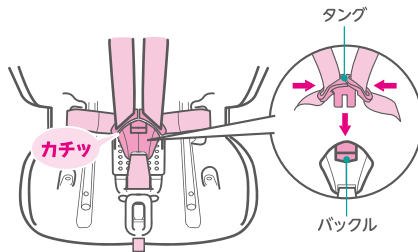
ISOFIX コネクタが接続され
ていること。

モードチェンジのしかた(チャイルドモード ハイバックモード)

- 1** ●ヘッドレストを調節する
本体カバー、ヘッドレストカバー、ヨグレパッド、バックルカバー、座面クッションを取りはずします。(47 ページ参照)
幼児ベルトを調節して、肩ベルトを最大限引き出します。(19 ページ参照)
ヘッドレストを最上段まで上げます。(20 ページ参照)

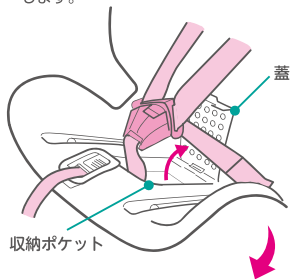


- 2** ●タングを差し込む
左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。

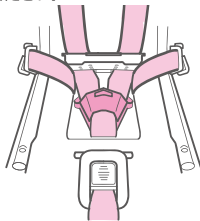


※座面クッションの腰ベルト部は破れやすいため、丁寧にはずしてください。

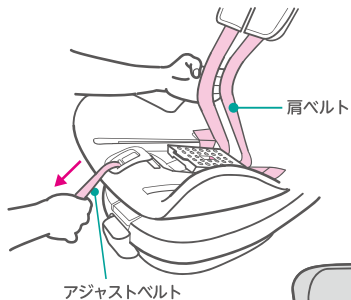
- 3** ●バックルを収納する
シートの座面にある収納ポケットの「蓋」を開けます。
※バックルとベルトは持ち上げた状態にします。



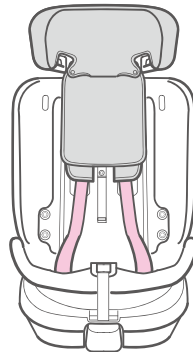
収納ポケットの中にバックルを納めて「蓋」を閉じます。
※腰ベルトと肩ベルトは「蓋」の間隙を通してください。



- 4** ●肩ベルト整える
アジャストベルトを引いて、肩ベルトのたるみをとります。



- 5** ●ヘッドレストカバーをかぶせる
肩ベルトカバーが隠れるように取付けます。
座面クッション、本体カバーを取付けます。



お車への取付け方 ハイバックモード 身長 100-150cm

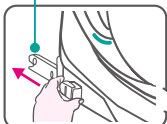


取付け方向 前向き ←

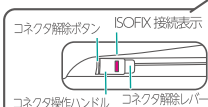
ISOFIXコネクタ使用

①シートの背もたれを一番立てた状態に調節します。
※ハイバックモードでは、シートを一番立てた状態で使用してください。

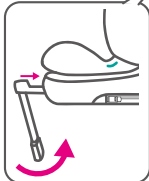
ISOFIX コネクタ



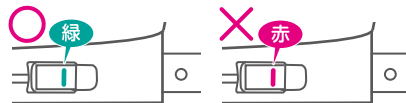
③コネクタ解除ボタンとコネクタ解除レバーを押しながら、矢印方向に移動させ ISOFIX コネクタを最大限引き伸ばします。(左右の ISOFIX コネクタを引き伸ばします。)



● ISOFIX 接続表示が赤色である事を確認してください。
注意

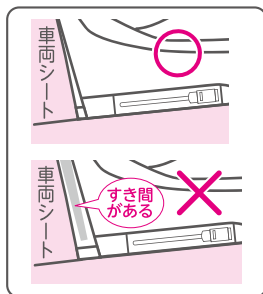


②サポートレッグは使用しないため、ベース裏側に収納します。(サポートレッグ使い方 13,14 ページ参照)



④車両の ISOFIX 取付け金具の位置を確認します。製品全体をゆっくと押し込み、左右の ISOFIX コネクタを ISOFIX 取付け金具に接続します。「カチッ」という音がして、ISOFIX 接続表示が緑色に変わったことを確認してください。

●お車からのはずし方は 25 ページを参照してください。

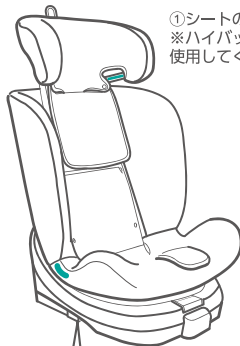


⑤車両シートの背もたれにベースが接するまでしっかりと押し込んでください。シート本体を前後させて、ISOFIX コネクタが伸縮しない（ロックされている）ことを確認してください。ISOFIX コネクタが抜けてしまう場合や、ロックされていない場合は一旦取りはずし 41 ページの③の操作からやり直してください。



●車両の背もたれがリクライニング出来る場合は出来るだけ隙間がない角度に調節してください。

取付け方向 前向き ← 車両シートベルト固定

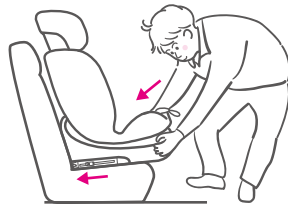


ISOFIX
コネクタ



②ISOFIX コネクタをベース内に収納します。

①シートの背もたれを一番立てた状態に調節します。
※ハイバックモードでは、シートを一番立てた状態で使用してください。



②サポートレッグは使用しない為、ベース裏側に収納します。サポートレッグの使い方 (13,14 ページ参照)
③車両シートの背もたれにベースが接するように配置します。



●車両の背もたれがリクライニング出来る場合は出来るだけ隙間がない角度に調節してください。

お子さまの乗せ方 ハイバックモード 身長 100-150cm



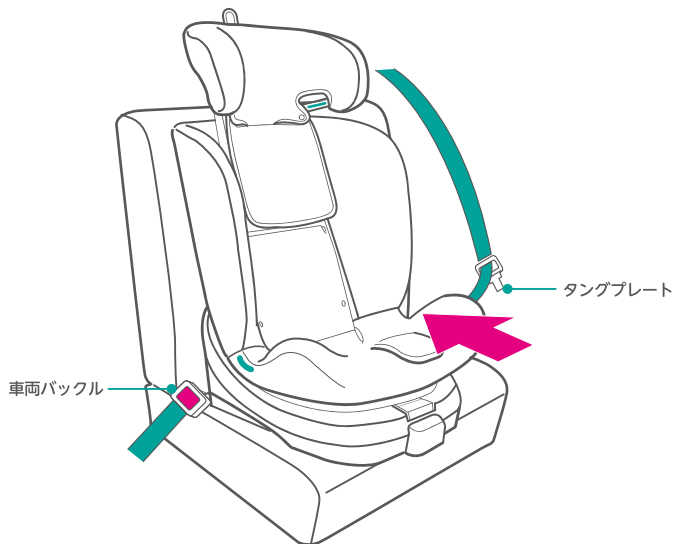
●車両ベルトでお子さまを拘束する。

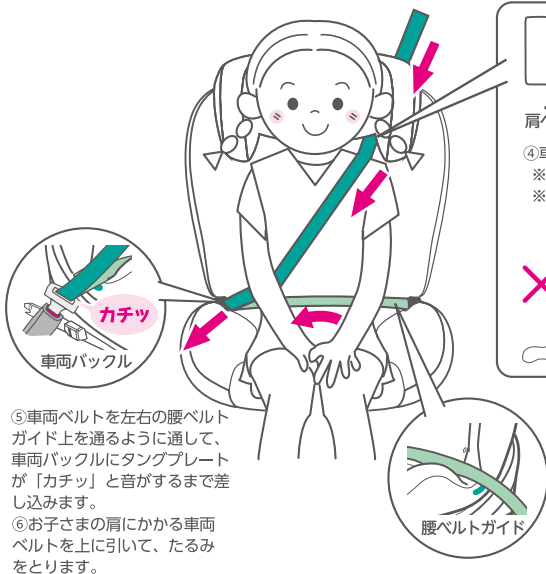
①ヘッドレストの高さを一番高い位置に調節してください。(20 ページ参照)

②お子さまをチャイルドシートの奥深くに座らせてください。

※インナーパッドは使用しません。

※幼児ベルトは使用しません。





⑤車両ベルトを左右の腰ベルトガイド上を通るように通して、車両バックルにタンクプレートが「カチツ」と音がするまで差し込みます。

⑥お子さまの肩にかかる車両ベルトを上へ引いて、たるみをとります。



警告

- 車両ベルト（腰側）は、腰骨のできるだけ低い位置にかかるとように調節してください。
- お子様の胸は、必ず車両ベルトの上に出してください。
- お子さまが正しく着座しているか確認してください。前のめり、のけぞり、傾いて座る、立てびざなどの姿勢は危険です。



肩ベルトガイド

③ヘッドレストの肩ベルトガイドが肩の高さと同じか、やや高くなるように調節します。

- ④車両ベルトを肩ベルトガイドに通します。
※各ベルトガイド部は緑色に着色されています。
※肩ベルトガイドは、片側のみ使用します。

【車両シートベルト高さの目安】



注意

- お子さまを乗せていないときも、チャイルドシートに車両ベルトをかけて固定しておいてください。

お子さまを乗せた後の確認



お子さまを乗せた後に必ず確認してください。
正しくできていない場合は、41~44の手順をやり直してください。

お子さまの身長にあわせた使用条件になっていること。
(2~3ページ参照)

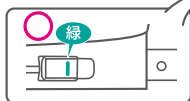
車両ベルト(肩側)が肩ベルトガイドを通り
お子さまの首にかかっていないこと。

シートベルトがお子さまの体に密着して
いてゆるみ、たるみ、ねじれないこと。

お子さまの胸は必ずシートベルトの上に出してください。

チャイルドシートと座席の背もたれ
との間に大きなすき間がないこと。

車両ベルトのタンクプレートと車両パッ
クルが確実に接続されていること。



ISOFIX コネクタが接続され
ていること。
※車両シートベルトのみで
取付ける場合を除く。

車両ベルト(腰側)が左右の腰ベルトガ
イド上を通り、お子さまの腰骨の出来
るだけ低い位置に確実にかかっている
こと。

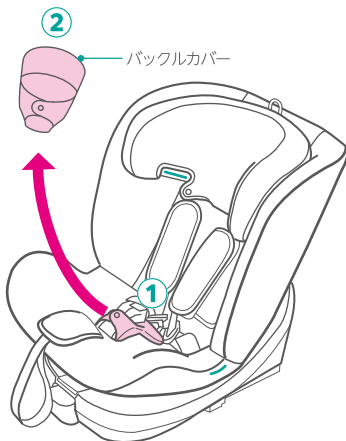
memo



シートカバーのはずし方 / 取付け方

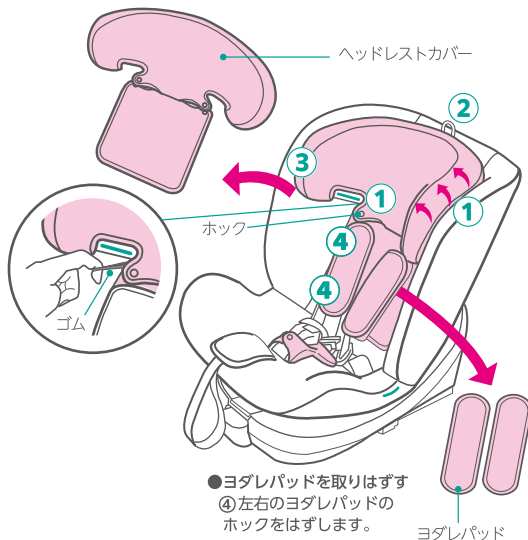
●バックルカバーを取りはずす

- ①バックルのタングをはずします。
- ②バックルカバーをはずします。



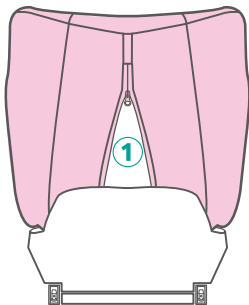
●ヘッドレストカバーを取りはずす

- ①ヘッドレストカバーのホックとゴムをはずします。
- ②ヘッドレストアジャスタ部分からはずします。
- ③ヘッドレストカバーをめくるようにはずします。



●ファスナーをはずす

- ①ファスナーをはずします。



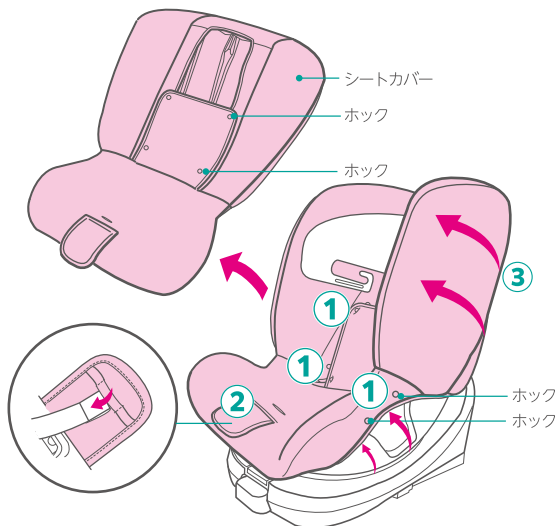
●カバーを取付ける場合は、下記の逆手順でおこなってください。



シートカバーを取りはずした
警告 状態で使用しないでください。

●シートカバーを取りはずす

- ①シートカバーのホックをはずします。
②アジャストベルトをはずします。
③シートカバーの外側からめくるようにはずします。



お手入れの仕方

お手入れの仕方

重要な注意すべき点

シートカバー、ベルト類、クッション類、インナーパッド、バックルなどは、チャイルドシートが適切に機能するために重要な役割を果たします。パーツ取付けは、必ずメーカーの認定交換パーツのみを使用するようにし、紛失または、取付け忘れが無いように十分注意してください。

洗濯と日常のお手入れ

日常のお手入れ方法

- 取りはずしができるウレタン、クッション類は取りはずしてから手洗いしてください。(一部商品によっては無いものがあります。)
- 樹脂部は水では洗えません。固く絞った濡れタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 部品のお取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。



●ガソリン、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や次亜塩素酸水、原液の中性洗剤などの薬品は使用しないでください。樹脂部品や縫製品をいためるおそれがあり危険です。

シートカバーなどの縫製品の洗い方



●中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。



●アイロン掛けはしないでください。



●ドライクリーニングはしないでください。



●酸素系漂白剤、塩素系漂白剤は使用しないでください。

●洗濯後は、脱水機、乾燥機はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。

保管 / 廃棄の仕方 / 製品仕様

保管 / 廃棄の仕方 / 製品仕様

- 保管** ●製品本体を長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。
- 廃棄** ●お住まいの各自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。
●衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどをはずして、廃棄してください。
- 製品仕様** 製品サイズ W430 D525 H610mm (起位でサポートレッグ収納時)
材 質 本 体…PE、ウレタン
シートカバー…表／ポリエステル 裏／ウレタン

ナカバヤシ株式会社

TEL:0570-666-365 <https://www.nakabayashi.co.jp/>

W3408 24.12